

スーパーマッフル・デジタル24以降

国土交通省の国土数値情報の取り込みと編集

<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

CONTENTS	
■ 事前準備①：地価公示データのダウンロード	2
【GMLフォルダの『GeoJSON』を取込み「テキスト編」】	3
【取込んだデータを目的に合わせて「フォルダー分け」】	5
【カスタム情報の地図表示編集】	8
【テキストの応用編：「テキスト」データで出力しグラフ化】	9
■ 事前の準備②：土地用途地域データのダウンロード	12
【GMLフォルダの『GeoJSON』を取込み編集「ポリゴン編」】	13
【取込んだデータを目的に合わせて「フォルダー分け」】	15
【「フォルダー分け」したデータを目的に合わせて「色分け」】	17
■ カスタム情報を結合する応用編	18

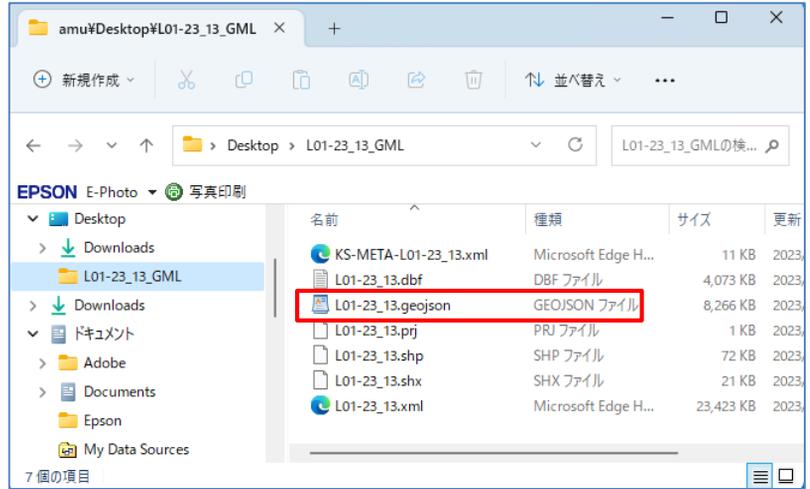
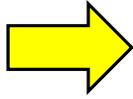
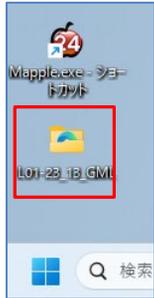
【参考】

国土交通省で提供の、「国土数値情報ダウンロードサイト」から「地価公示」の「L01-23_13_GML」データおよび「土地用」の「A01-19_13」を使用し、マニュアルに記載いたしております。

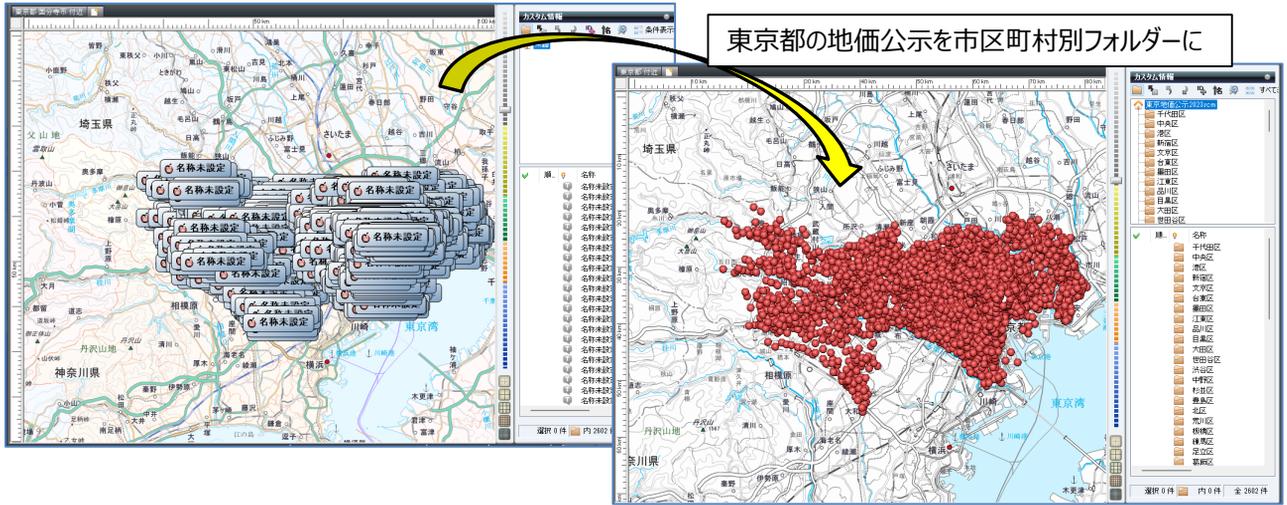
■事前準備①：地価公示データのダウンロード

- ① 「国土交通省」の「国土数値情報」の「地価公示（ポイント）」サイトから、任意のエリアをダウンロードし、ファイルをダブルクリックし、デスクトップに解凍すると、作業が行いやすくなります。

※GMLフォルダー内にある「GeoJSON」ファイルを使用します。



仕上がりイメージ



【GMLフォルダの『GeoJson』を取込み「テキスト編」】

- ① スーパーマップル・デジタルを起動し [取込] の [GeoJson] をクリックし、「L01-23_13.geojson」を「開く」で取込んでください。

【ご注意】他のソフトで該当データファイルを使用していると「取込」ができません。

注：データ量により時間を要する場合があります。

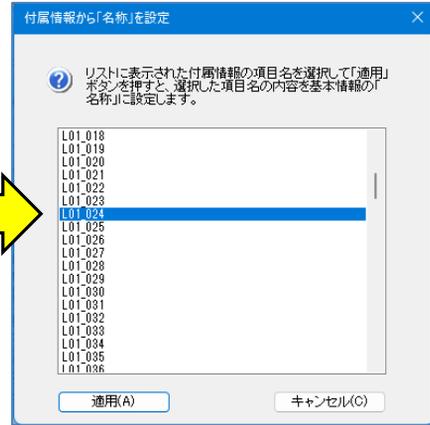
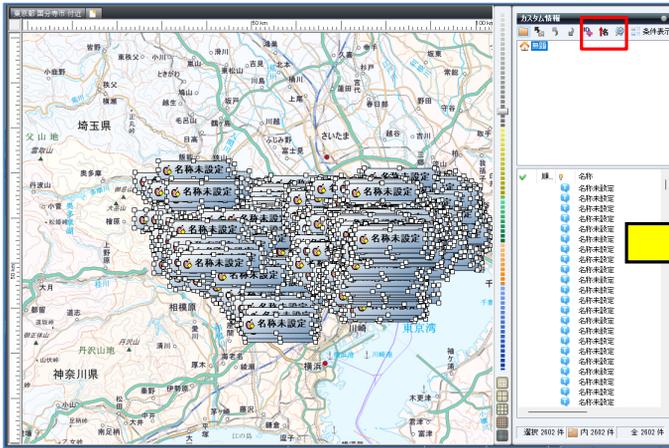
GIS用のデータでは「一般の地図」における名称の項目が設定されていないこともあります。

- ② で任意のデータをクリックすると、カスタム情報プレビューが開き「内容」が表示されます。「名称」にする「項目」を確認し、閉じます。
例：L01_024項目に記載されている「住所」を「名称」に設定します。

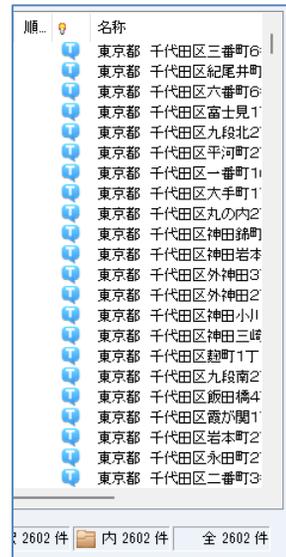
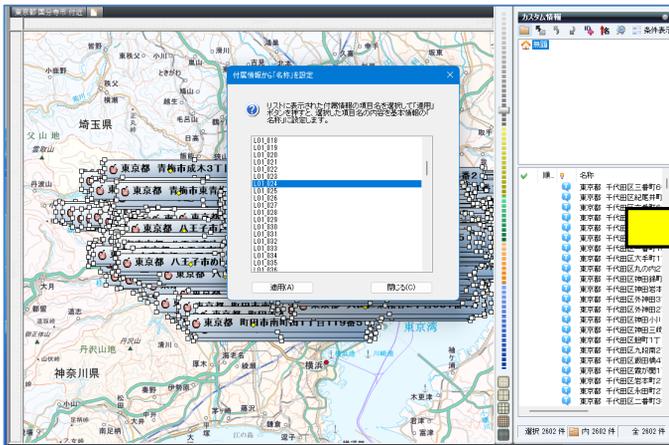
L01_015	false
L01_016	false
L01_017	false
L01_018	false
L01_019	false
L01_020	false
L01_021	false
L01_022	13101
L01_023	千代田
L01_024	東京都 千代田区 三番町6番25
L01_025	-
L01_026	969.000000
L01_027	住宅その他
L01_028	共同住宅
L01_029	001
L01_030	SRC
L01_031	true
L01_032	true
L01_033	true

- ③ 「Ctrl+A」で全選択をし、[カスタム情報] 欄にある **名** をクリックします。
 [付属情報から「名称」を設定] 画面が表示されますので、②で確認した住所「L01_24」を選択し [適用] をクリックします。

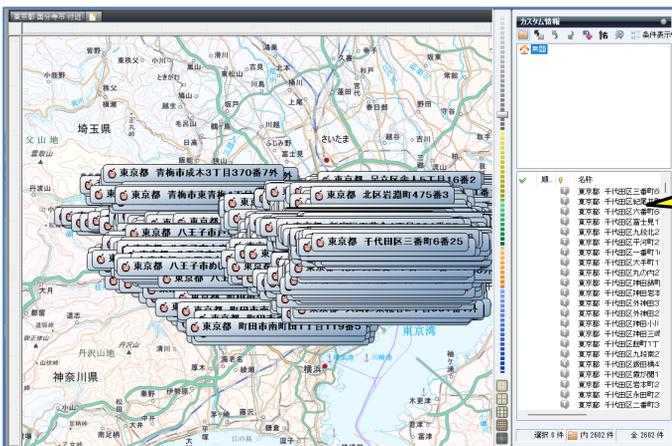
注：データ量により時間を要する場合があります。



- ④ [名称] 欄及び地図上の名称に「住所」表示設定されます。
 [閉じる] をクリックすると設定が完了いたします。

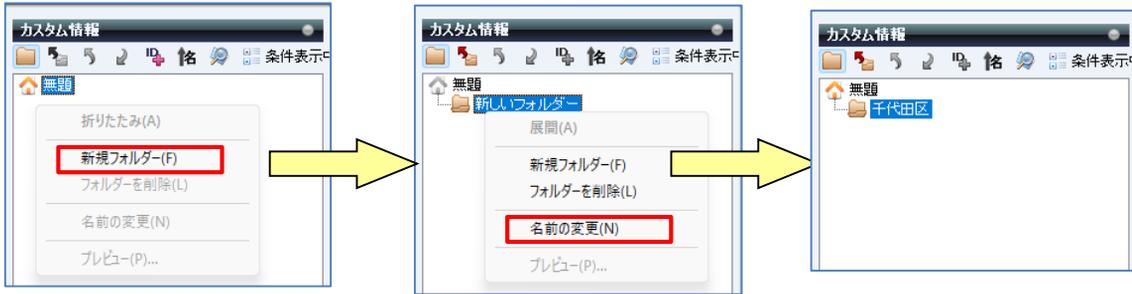


※選択を解除するには、[カスタム情報欄] の空間をクリックするか「Esc」キーで解除します。

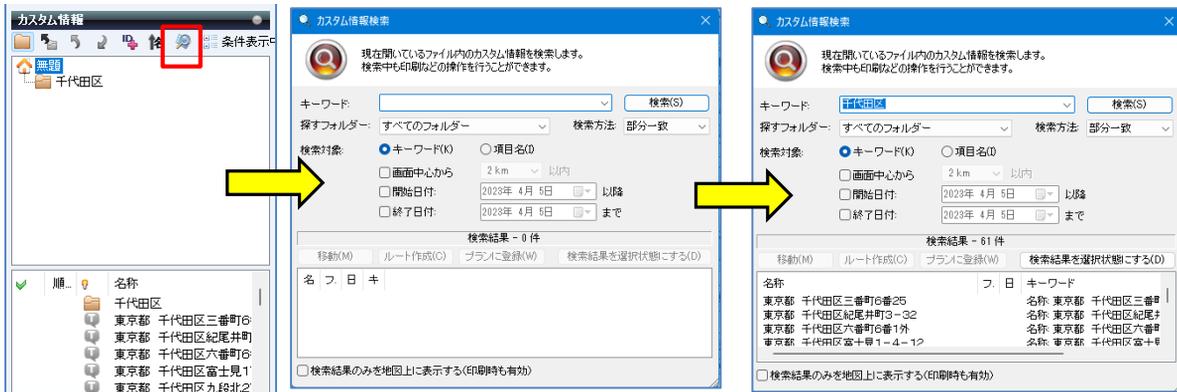


【取込んだデータを目的に合わせて「フォルダー」分け】

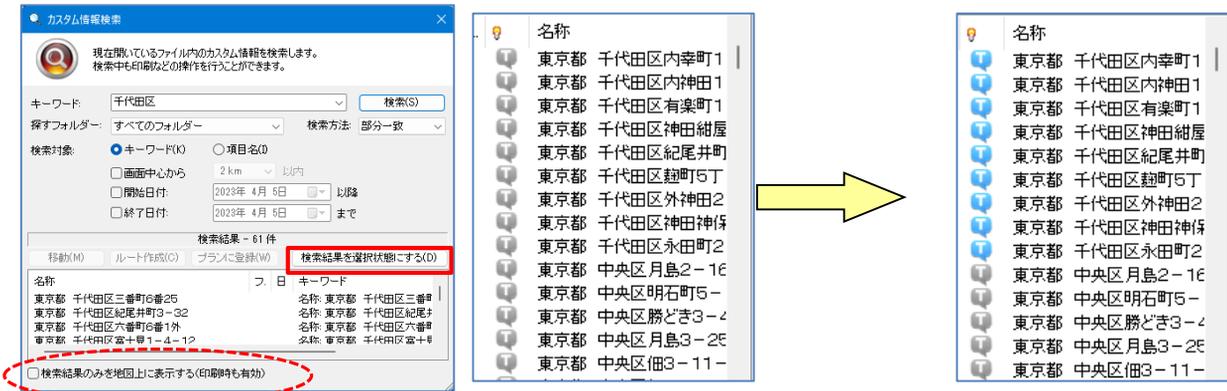
- ① 「地価公示」データを市区町村別に「フォルダー分け」をします。
 カスタム情報欄で右クリックし、新規フォルダーをクリック。
 [新規フォルダー] を右クリックして、フォルダー名（例：千代田区）を入力します。



- ② にし をクリックで [カスタム情報検索] を開き、[キーワード] に「千代田区」を入力 [検索] をクリック。
 ※例：設定は「すべてのフォルダー、部分一致、キーワード」で行います。

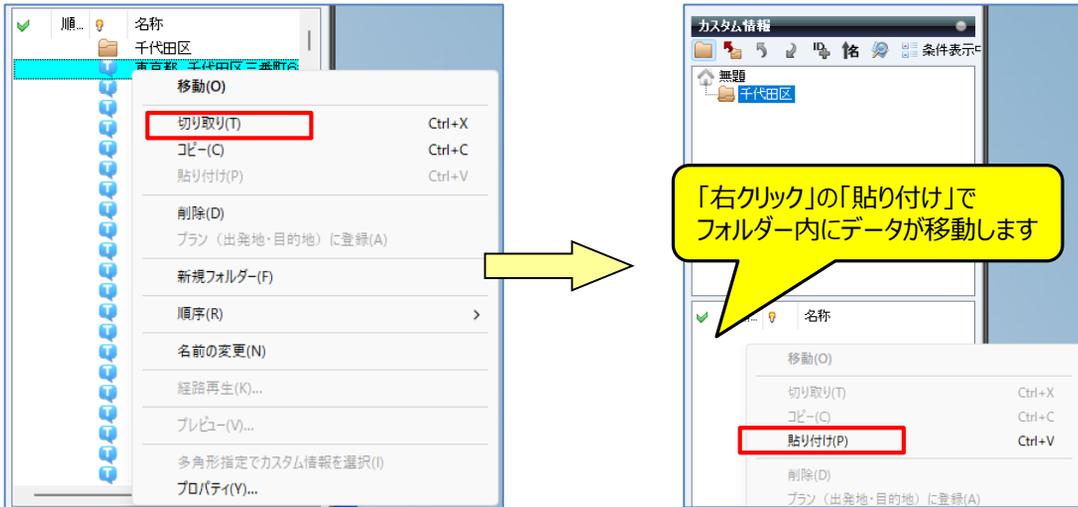


- ③ 入力された「千代田区」で検索されます。
 [検索結果を選択状態にする] をクリックすると、該当データが選択されます。

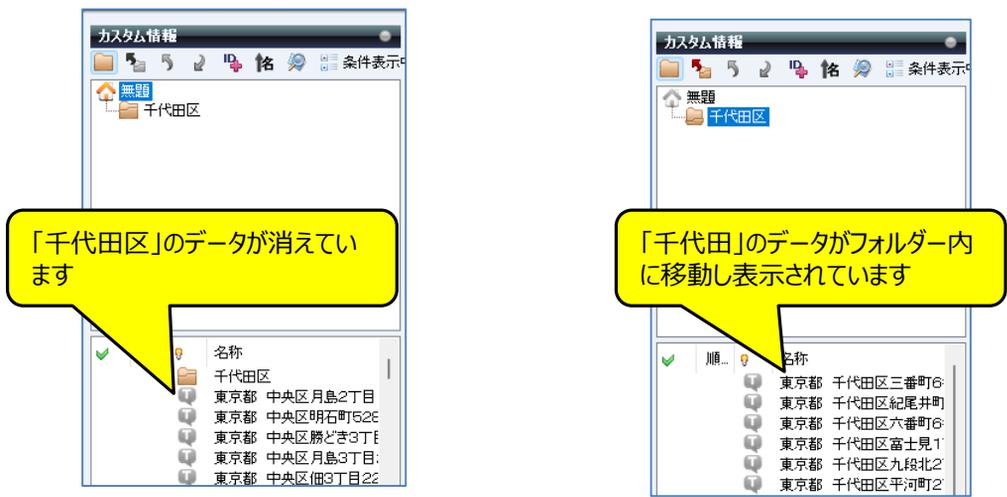


※ [カスタム情報検索] 画面下の [検索結果のみを地図上に表示する] に を入れると、該当データのみを地図表示します。

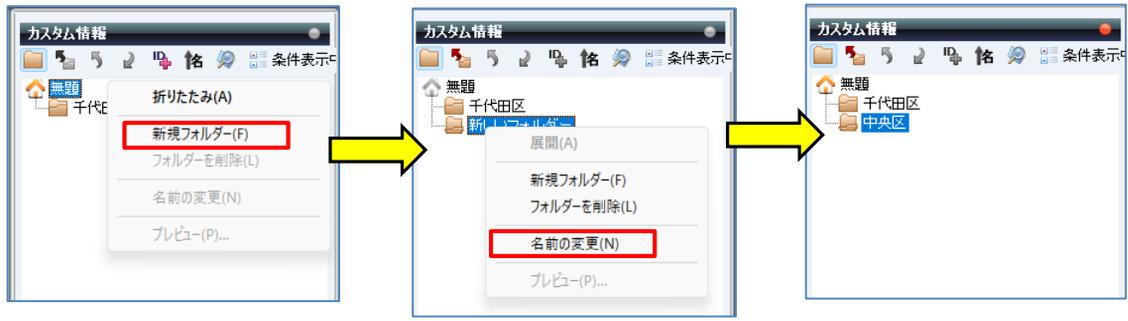
- ④ 検索された該当データ上で右クリックして、[切り取り] を選択します。
「千代田区」フォルダーをクリックして貼り付けます



- ⑤ 貼り付け後、確認するため 無題 ホームをクリックし情報を表示します。
次に「千代田区」フォルダーをクリックします。



**【🍎ポイント】新規フォルダーを作成する場合は、その上位のフォルダーをクリックして作成します。
千代田区に続けて中央区以降を作成の場合
※手順：「無題」の「新規フォルダー」⇒「名前の変更」⇒「中央区」となります。**



※「フォルダー分け」することによりデータ整理ができ、以降の工程の作業がしやすくなります。

⑥ 「カスタム情報欄」の を活用すると、該当のフォルダーのみの地図表示ができます。

取込んだ情報を見やすくするため、「地図スタイル」の「白図表示」を選択しています。

「千代田区」を表示しています。

「中央区」を表示しています。

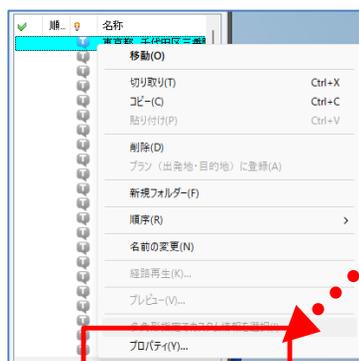
⑦ をクリックし「名前を付けて保存」を選択。スーパーマップル・デジタル用ファイル「カスタム情報」として保存してください。作業を途中で終了するときでも「保存」してください。後に保存したカスタム情報（rcmファイル）で続けることができます。

参考

カスタム情報として保存するとき前に「情報記入」タブの「ホーム登録」をクリックすると、起動時のホームポジションとして設定され表示されます。

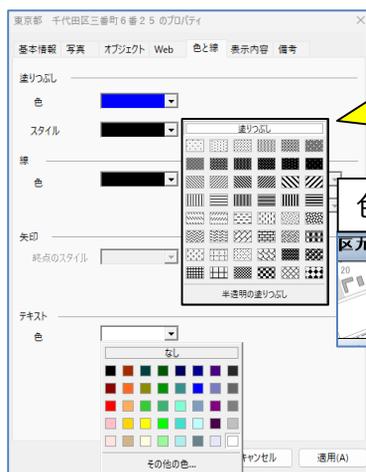
【カスタム情報の地図表示編集】

- ① で「カスタム情報」欄の「該当名称」を右クリックし、[プロパティ]を選択してください。

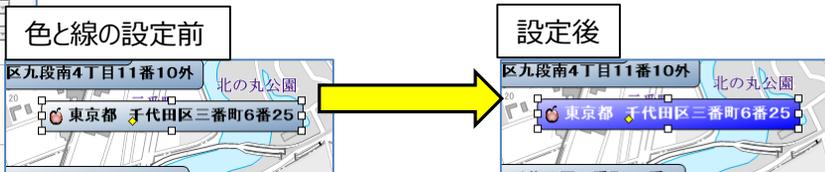


メニューから[プロパティ]を選択

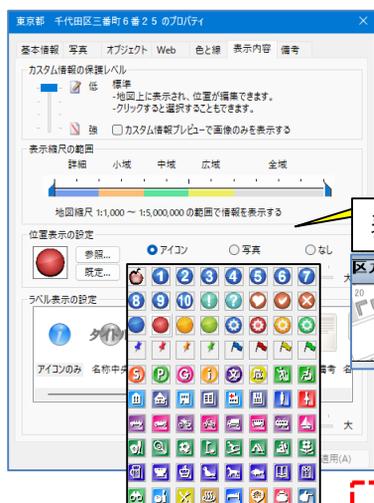
- ② 「色と線」タブを選択します



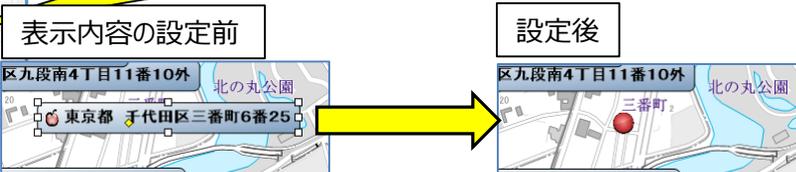
【色と線】タブの場合
 例：[塗りつぶし]の[色]を「青」
 [スタイル]を「塗りつぶし」
 [線]を「黒」
 [テキスト]を「白」



- ③ 「内容表示」タブを選択します



【表示内容】タブの場合
 例：[位置表示の設定]の[アイコン]の[既定]で「赤丸」を選択
 [ラベルの設定]は「アイコンのみ」を選択
 ※ [サイズ]はスライドさせて設定します。

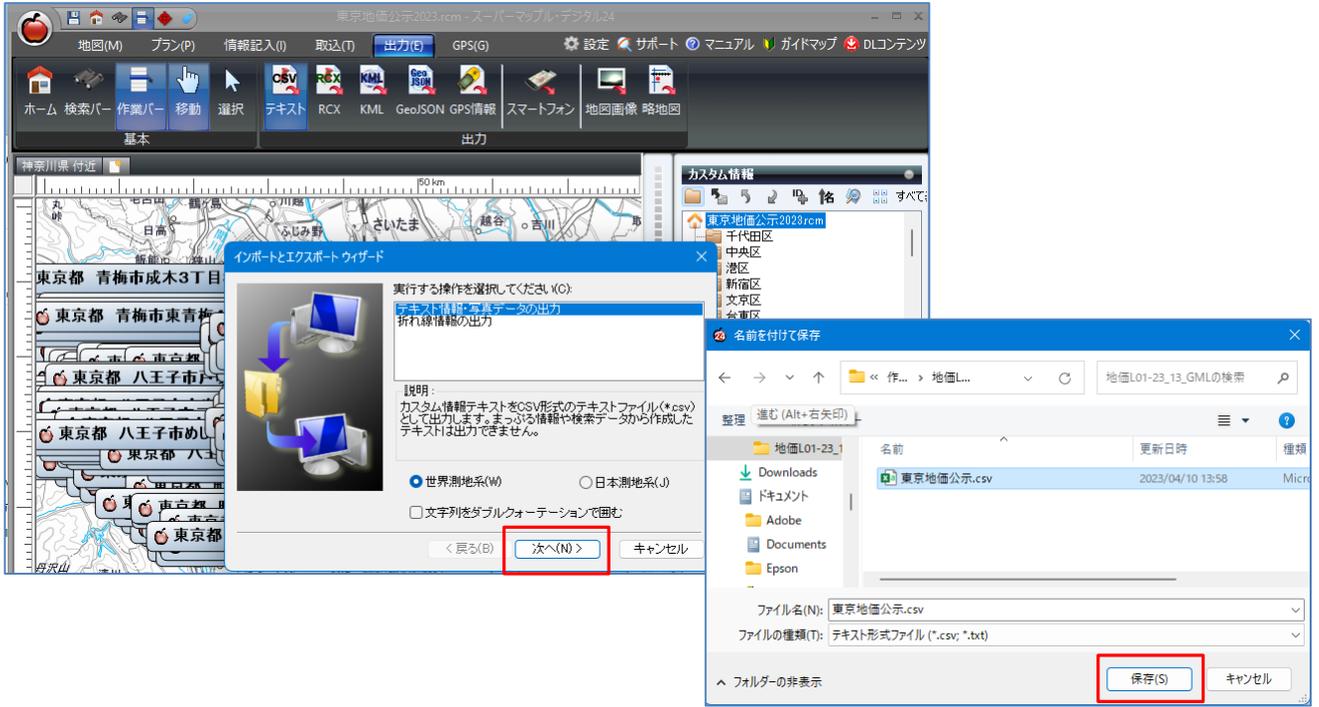


※ 【色と線】 【表示内容】で、表示方法を試してください。
 イメージがつかめるので、実際に表示方法を変更されることをおススメします。

【テキストの応用編 : 「テキスト」データで出力しグラフ化】

※カスタム情報で保存された東京地価公示.rcmファイルを使用します。

- ① 保存したカスタム情報を開き、「出力」の「テキスト」を選択し、「テキスト情報・写真データの出力」、「世界測地系」を選択、「次へ」をクリックし、[名前を付けて保存] で「ファイル名」を記載し、「保存」します。



- ② 保存した「東京地価公示.CSV」を、[Excel] で開き、確認してください。
スーパーマップル・デジタルでの項目が追加されています。
(注 : マニュアルはグラフに必要な項目だけを選択し記載)

名称	経度[世界測地系]	緯度[世界測地系]	世界測地系アイコンID	フォルダ	引出線	L01_001	L01_002	L01_003	L01_004	L01_005	L01_006	L01_007	L01_008	L01_009
東京都 千代田区三番町	139.75108	35.68108	0 /	0	0	1	0	0	1	2023	3340000	3.1	1	FALSE
東京都 千代田区紀尾井	139.75108	35.68108	0 /	0	0	2	0	2	2	2023	2110000	3.4	1	FALSE
東京都 千代田区六番町	139.75108	35.68108	0 /	0	0	3	0	3	3	2023	4280000	3.1	1	FALSE
東京都 千代田区富士見	139.75108	35.68108	0 /	0	0	4	0	4	4	2023	1620000	3.2	1	FALSE
東京都 千代田区九段	139.75108	35.68108	0 /	0	0	5	0	5	5	2023	3110000	3.3	1	FALSE
東京都 千代田区平塚	139.75108	35.68108	0 /	0	0	6	0	6	6	2023	1900000	3.3	1	FALSE
東京都 千代田区一ツ橋	139.75108	35.68108	0 /	0	0	7	0	7	7	2023	3180000	3.2	1	FALSE
東京都 千代田区大塚	139.75108	35.68108	0 /	0	0	5	1	5	1	2023	14100000	0.7	1	FALSE

L01_06を最新地価とする

スーパーマップル・デジタルで追加された項目

- ③ スーパーマップル・デジタルの「取込」の「棒グラフ」をクリックし、「グラフウィザード」の「参照」で、「東京地価公示.csv」を選択し、「開く」の「次へ」で取込みます。

- ④ 「データのプレビュー」で表示されているデータを確認し、「次へ」。

【ポイント】
「先頭行をフィールド名として使う」に☑が入っていること。
*フィールド名はどの列をグラフに割り当てるか、設定するときの名称(項目名)です。

- ⑤ 列名とデータ形式を横のスライダーで確認し、「次へ」をクリックします。
・項目の名称をクリックするとデータ形式がわかります。また項目名の前にある「数値アイコン」で確認できます。

【ポイント】
グラフ化する「列」の形式が「テキスト型」だとグラフ化できません。
[データ形式]で「数値型」に変更します。

- ⑥ グラフタイトルには通常「名称」を選択し、「グラフ用数値」に任意の項目を選択し「次へ」。(例：L01_006)
「経度・緯度」を選択し「次へ」の「はい」をクリックすると「データ」を読み「グラフ」化を行います
*「グラフタイトル」は省略してもかまいません。

⑦ グラフ化の準備が始まります。(注：データ量により時間を要する場合があります)

完了しましたら、[OK] の [次へ] をクリックしてください。



⑧ グラフが表示されますので任意に設定してください。

(例：最大値の設定で100mm、最小値は1mm、幅の設定は5mm)

【ポイント】

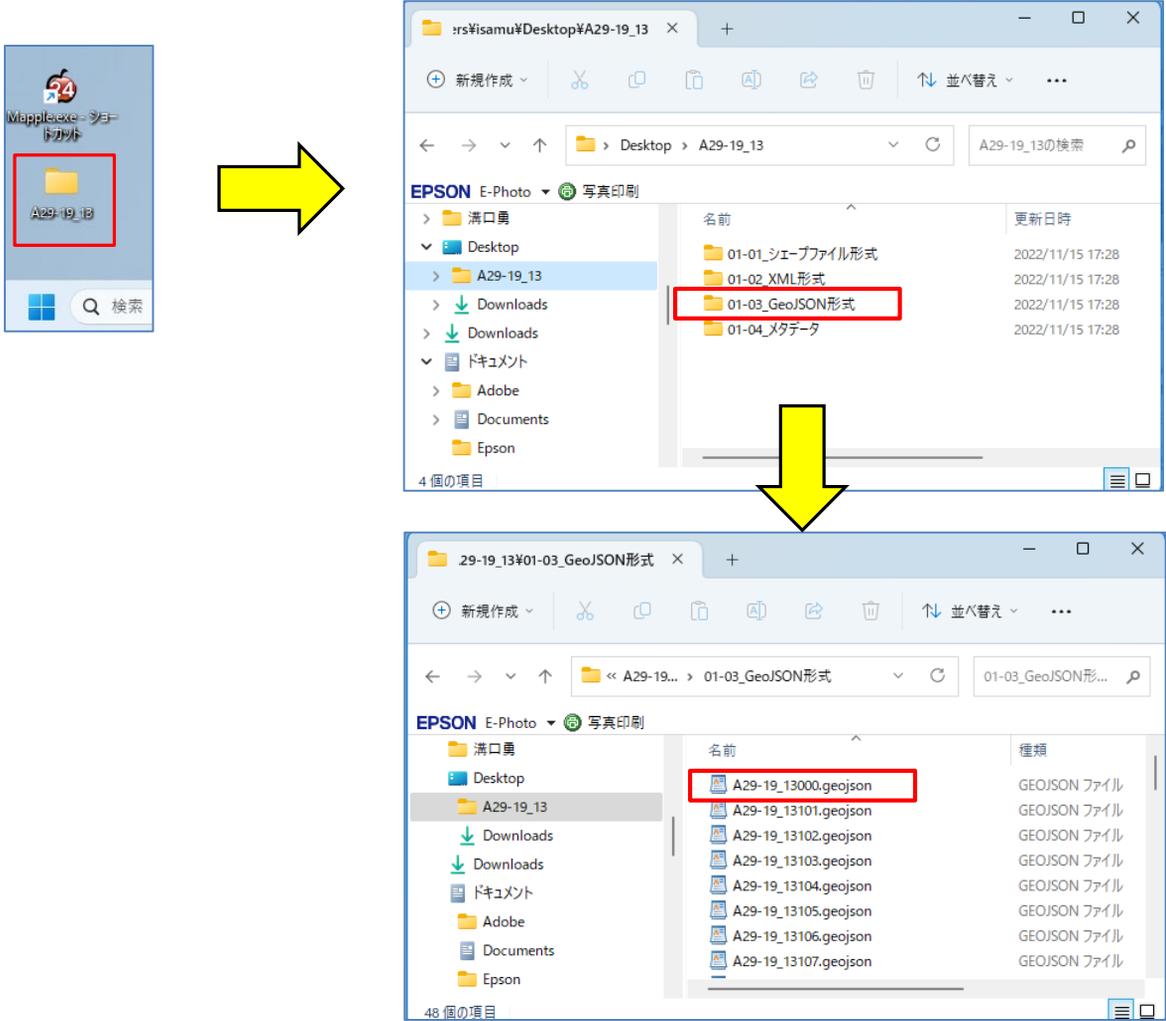
- ・ 枠内の「グラフの色」「グラフのサイズ」を設定することにより、表示バランスを変更することができます。
- ・ また、表示後も「プロパティ」で調整ができます。

⑨ 完了しましたら、「保存」します。

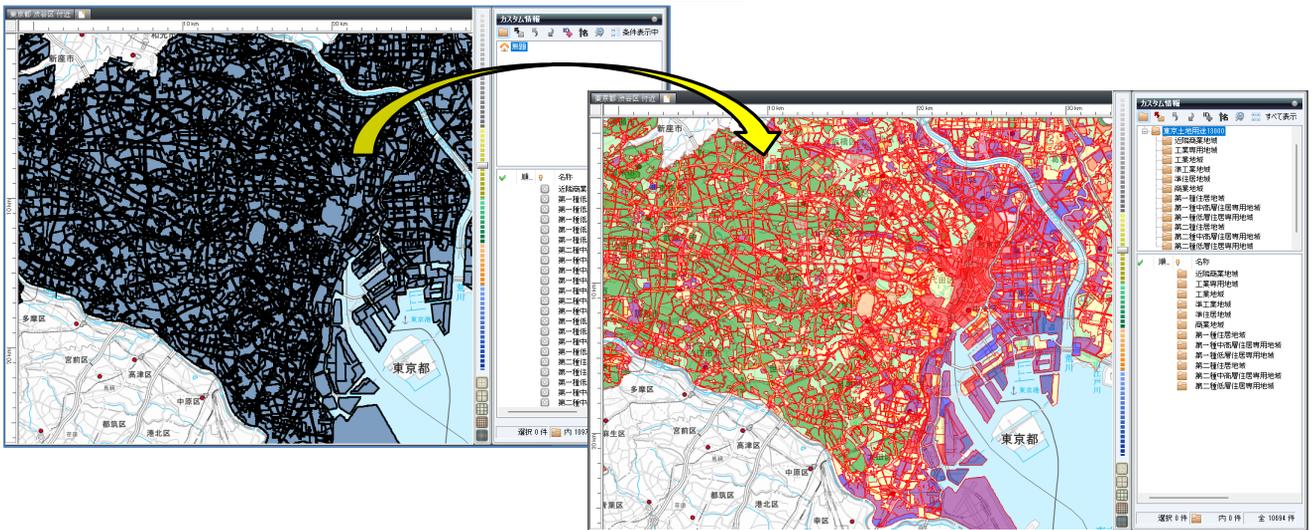
■ 事前の準備② 土地用途地域データのダウンロード

- ① 「国土交通省」の「国土数値情報」の「用地地域（ポリゴン）」サイトから、任意のエリアをダウンロードし、ファイルをダブルクリックし、デスクトップに解凍すると、作業が行いやすくなります。

※GMLフォルダー内にある「GeoJSON」ファイルを使用します。（例：A29-19_13を使用）



仕上がりイメージ



【GMLフォルダの『GeoJson』を取込み編集「ポリゴン編」】

- ① スーパーマップル・デジタルを起動し [取込] の [GeoJSON] をクリックし、「L01-23_13.geojson」の「開く」で取込んでください。

【ご注意】他のソフトで該当データファイルを使用していると「取込」ができません。

注：データ量により時間を要する場合があります。

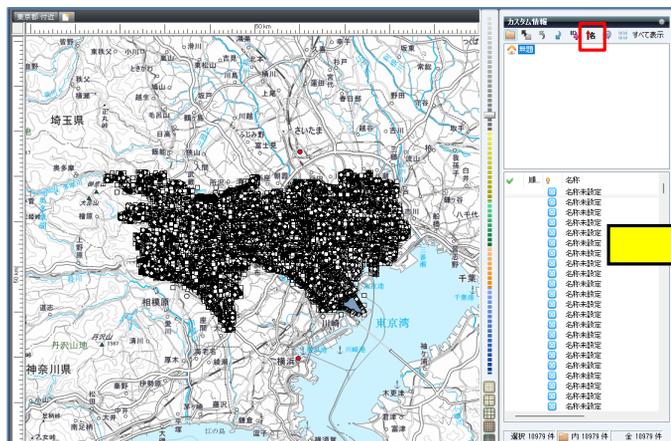
GIS用のデータでは「一般の地図」における名称の項目が設定されていないこともあります。

- ② で任意のデータを右クリックし、[プロパティ] を選択すると、カスタム情報の [プロパティ] 開き「内容」が表示されます。「名称」にする「項目」を確認し、[OK] で閉じます。
例：A29_005項目に記載されている土地用途の「内容」を「名称」に設定します。

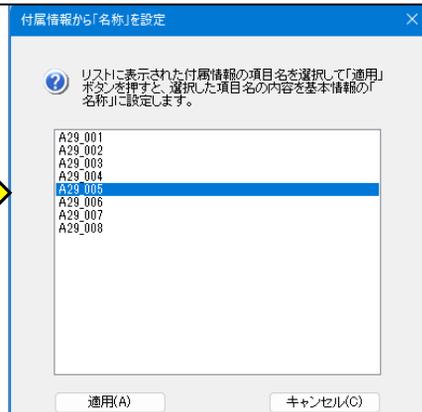
内容表示

項目名	内容
A29_001	13000
A29_002	東京都
A29_003	null
A29_004	8.000000
A29_005	近隣商業地域
A29_006	80.000000
A29_007	300.000000

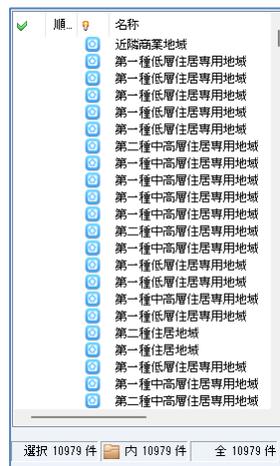
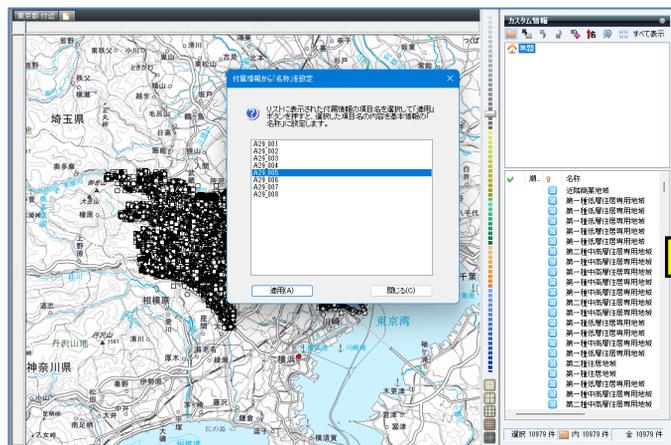
- ③ 「Ctrl+A」で全選択をし、[カスタム情報] 欄にある **名** をクリックします。
 [付属情報から「名称」を設定] 画面が表示されますので、②で確認した土地用途の「内容」の「A29_005」を選択し [適用] をクリックします。



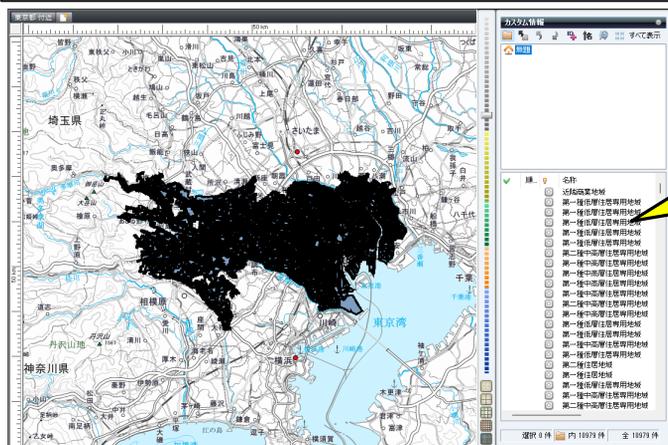
注：データ量により時間を要する場合があります。



- ④ [名称] 欄の名称に「土地用途」表示設定されます、
 [閉じる] をクリックすると設定が完了いたします。



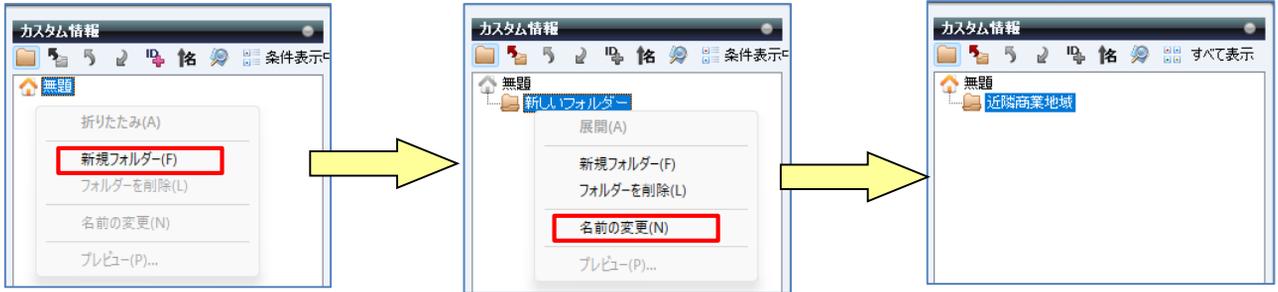
※選択を解除するには、[カスタム情報欄] の空欄をクリックします。



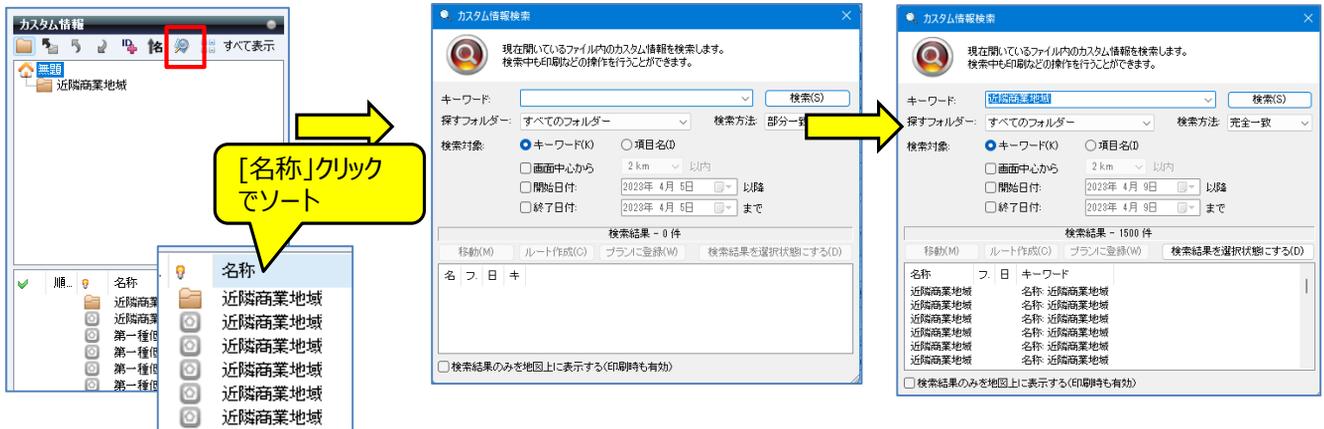
「Esc」キーで解除されます

【取込んだデータを目的に合わせて「フォルダー」分け】

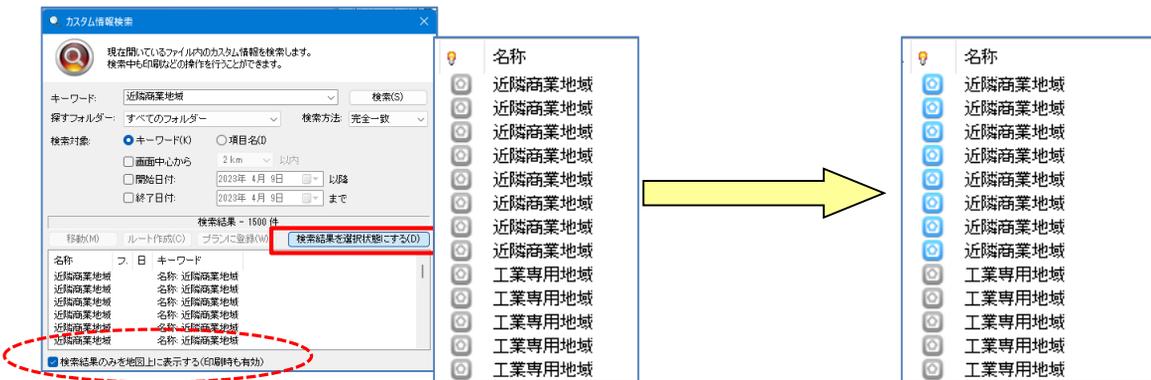
- ① 「土地用途」データを用途別にフォルダー分けにします。
 カスタム情報欄で右クリックし、新規フォルダーをクリック。
 [新規フォルダー] を右クリックして、フォルダー名（例：近隣商業地域）を入力します。



- ② で[名称] 欄をクリックすると、「名称」がソートされ作業が行いやすくなります。
 をクリックで「カスタム情報検索」を開き、[キーワード] に「近隣商業地域」を入力 [検索] をクリック。
 ※例：設定は「すべてのフォルダー、完全一致、キーワード」で行います。



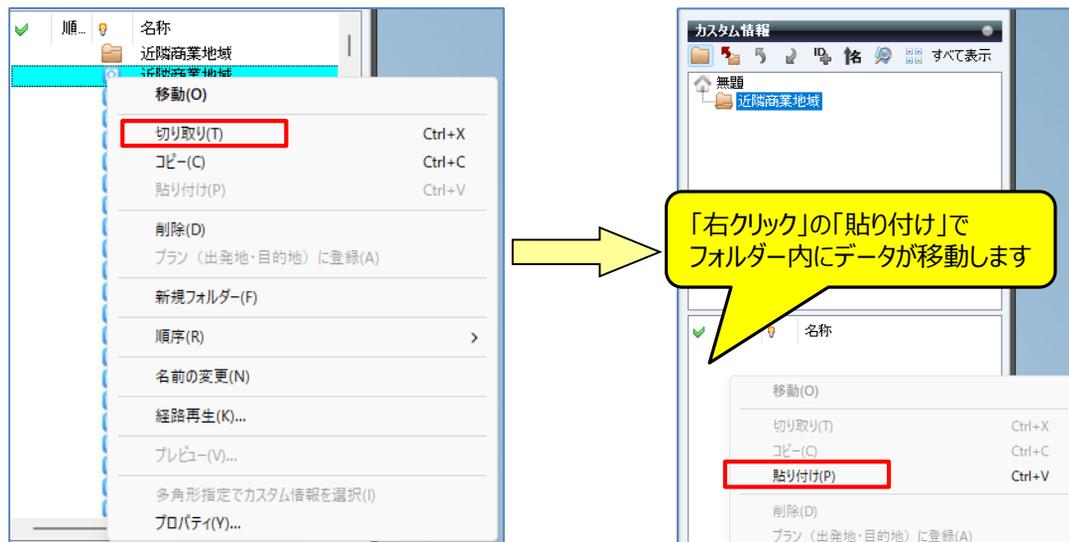
- ③ 入力された「近隣商業地域」で検索されます。
 [検索結果を選択状態にする] をクリックすると、該当データが選択されます。



※「カスタム情報検索」画面下の [検索結果のみを地図上に表示する] に を入れると、該当データのみを地図表示します。

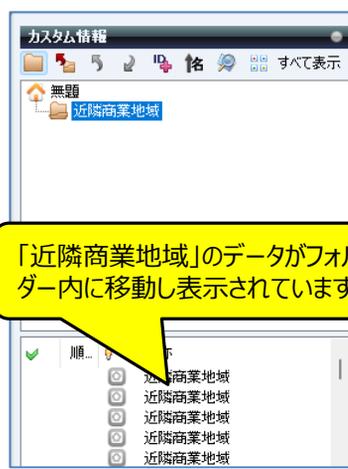
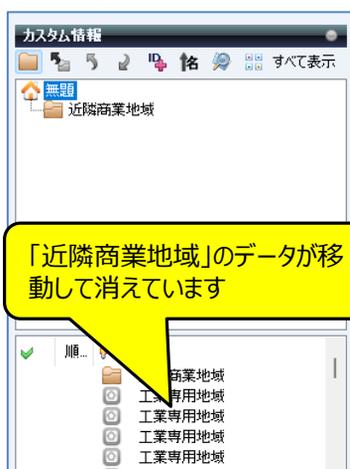
④ 検索された該当データ上で右クリックして、[切り取り] を選択します。

「近隣商業地域」フォルダーをクリックして貼り付けます



⑤ 貼り付け後、確認するため  無題 ホームをクリックし情報を表示します。

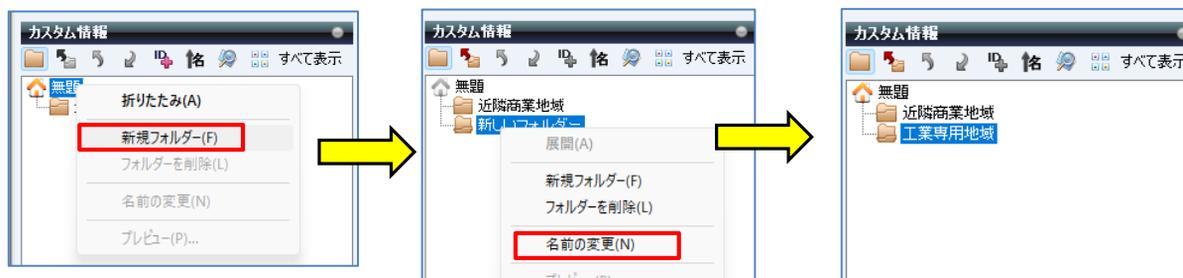
次に「近隣商業地域」フォルダーをクリックします。



 **ポイント** 新規フォルダーを作成する場合は、その上位のフォルダーをクリックして作成します。

「近隣商業地域」に続けて「工業専用地域」以降を作成の場合

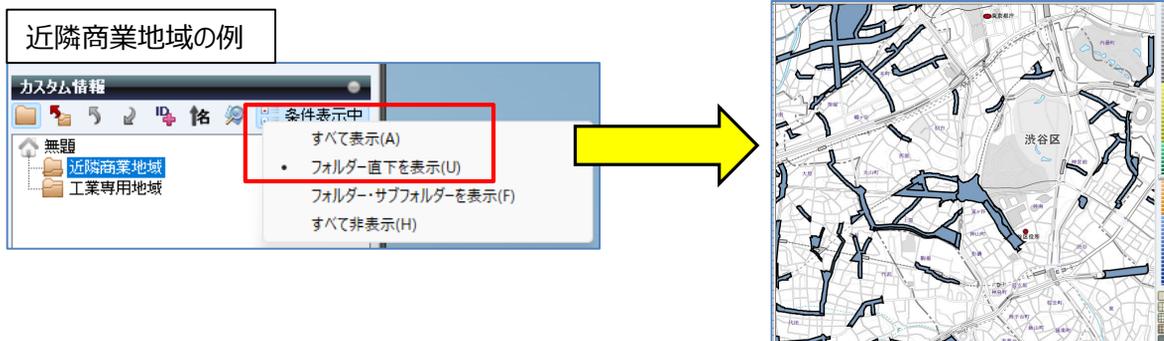
※手順：「無題」の「新規フォルダー」⇒「名前の変更」⇒「工業専用地域」となります。



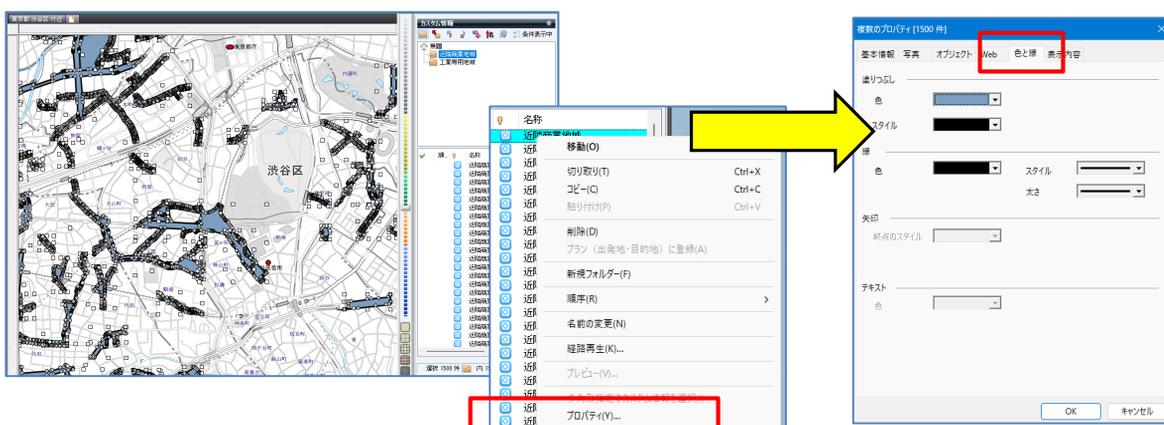
※「フォルダー分け」することによりデータ整理ができ、以降の工程の作業がしやすくなります。

【「フォルダー」分けしたデータを目的に合わせて「色」分け】

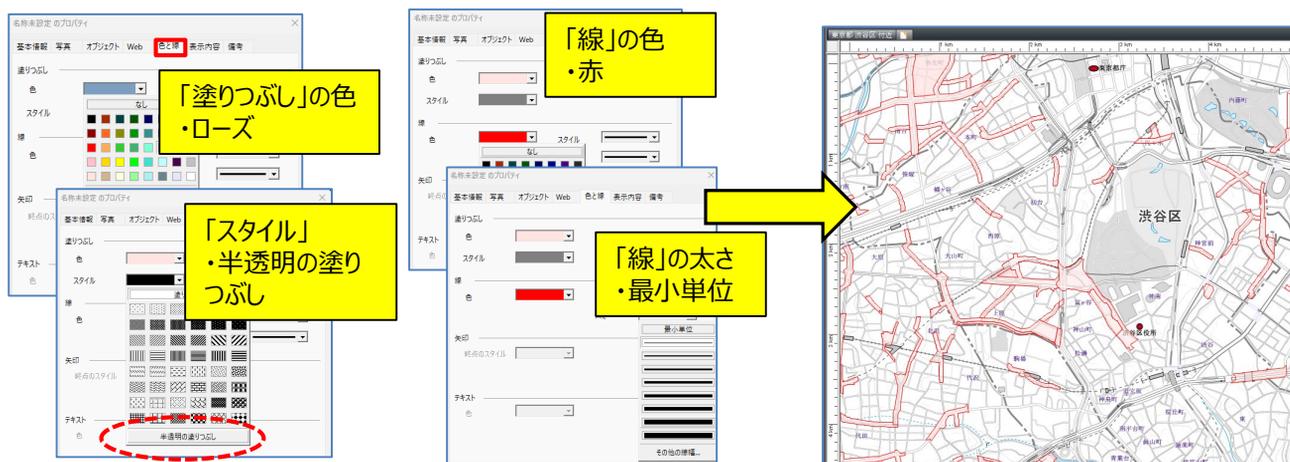
- ① 「カスタム情報欄」の を活用すると、該当のフォルダーのみの地図表示ができます。
 地図の表示縮尺を1/25,000程度にし、「フォルダー直下を表示」をクリックすると、該当のポリゴンが表示されます。



- ② 「Ctrl+A」で全選択をし、右クリックで「プロパティ」を選択します。
 「プロパティ」の「色と線」タブで、色と線の太さなどを設定します。



- ③ 各項目を設定し「OK」をクリックします。



- ④ 「工業専用地域」以外の地域も①～③をくり返し行うことにより、ポリゴンを任意の色にすることができます。

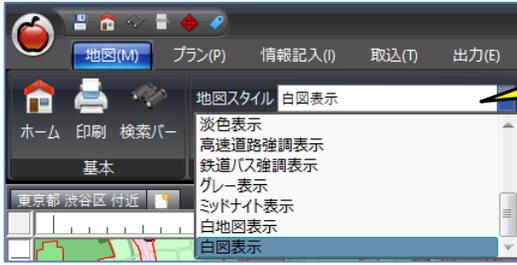
※表示方法を試してください。イメージがつかめるので、実際に表示方法を変更されることをおすすめします。

- ⑤ をクリックし「名前を付けて保存」を選択。スーパーマップル・デジタル用ファイル「カスタム情報」として保存してください。作業を途中で終了するときでも「保存」してください。後に保存したカスタム情報（rcmファイル）で続けることができます。

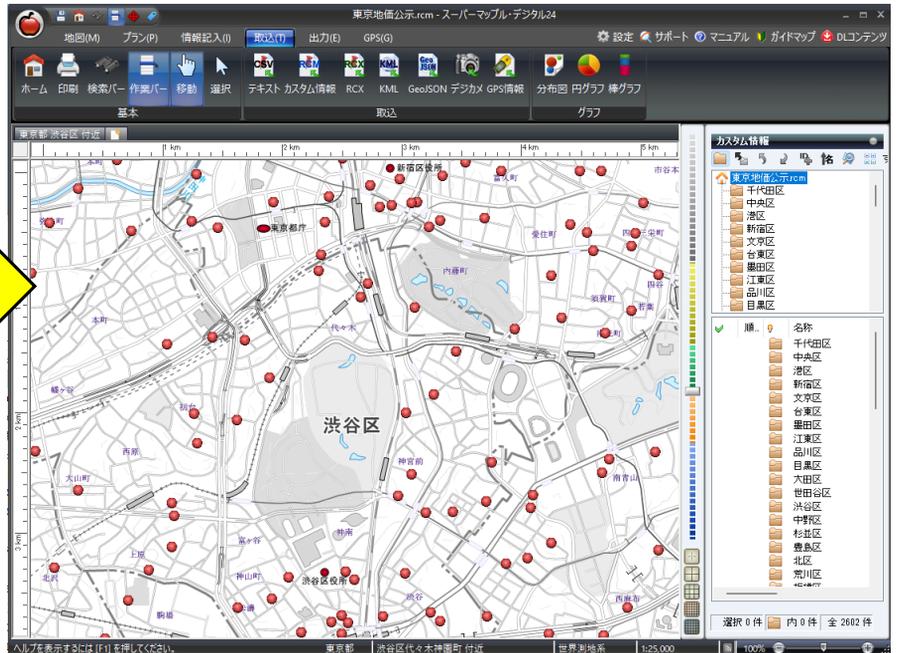
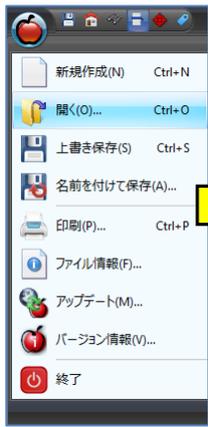
■ カスタム情報を結合する応用編

※カスタム情報で保存した、**東京地価公示.rcmファイル**と**東京土地用途別.rcmファイル**を使用します。

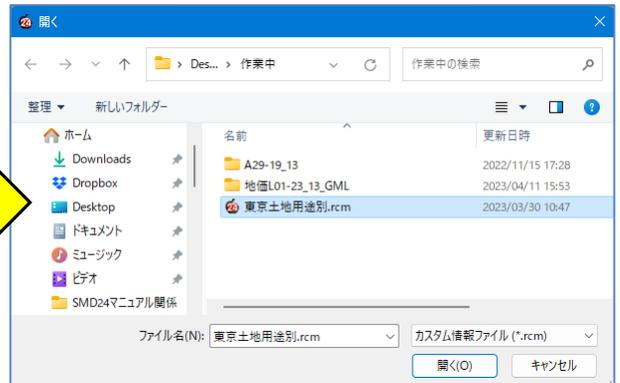
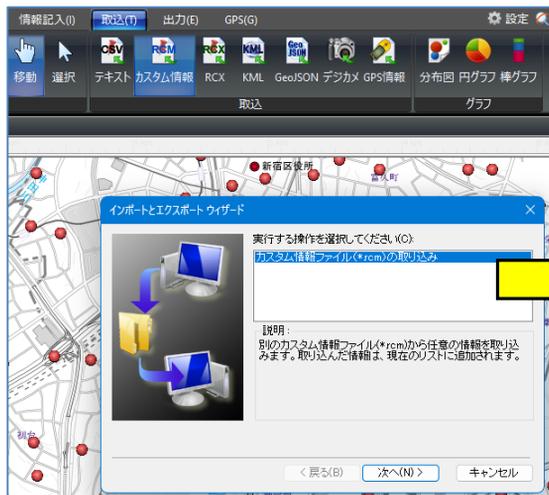
- ① [メニュー] から「開く」で、「東京地価公示.rcm」を開き、縮尺を1/25,000程度にします。
 ※画面内で表示するデータ数が少なくなるので、表示が早くなります。



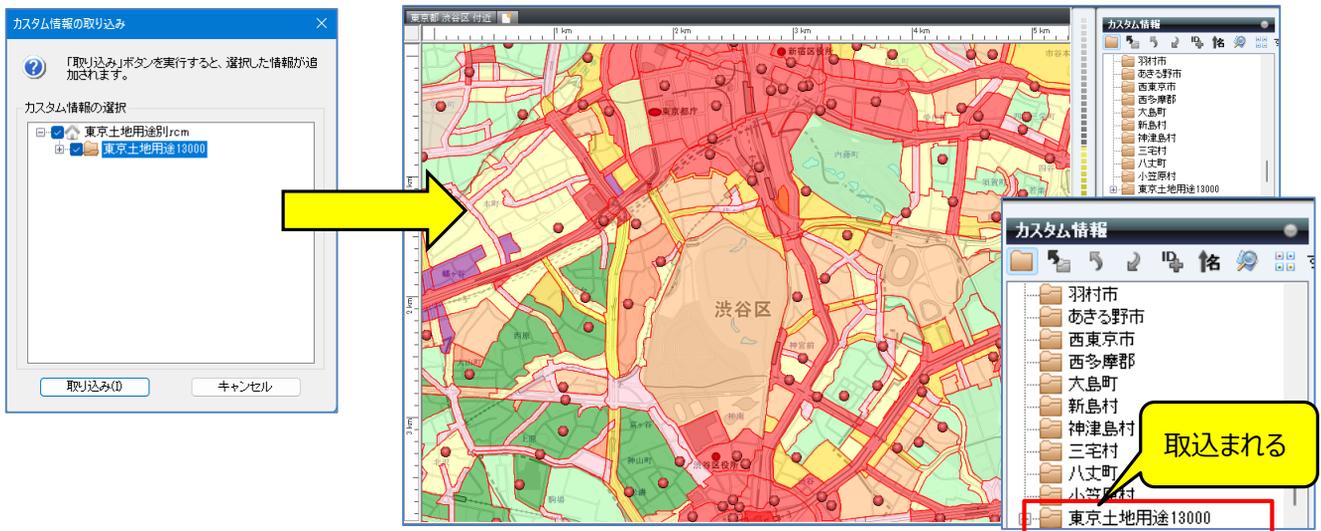
地図表示は見やすくするため、
地図スタイルで「白図」を選択



- ② 「取込」の「カスタム情報」を選択すると、「インポートとエクスポートウィザード」が開きますので、「次へ」をクリックし、「東京土地用途別.rcm」を選択。

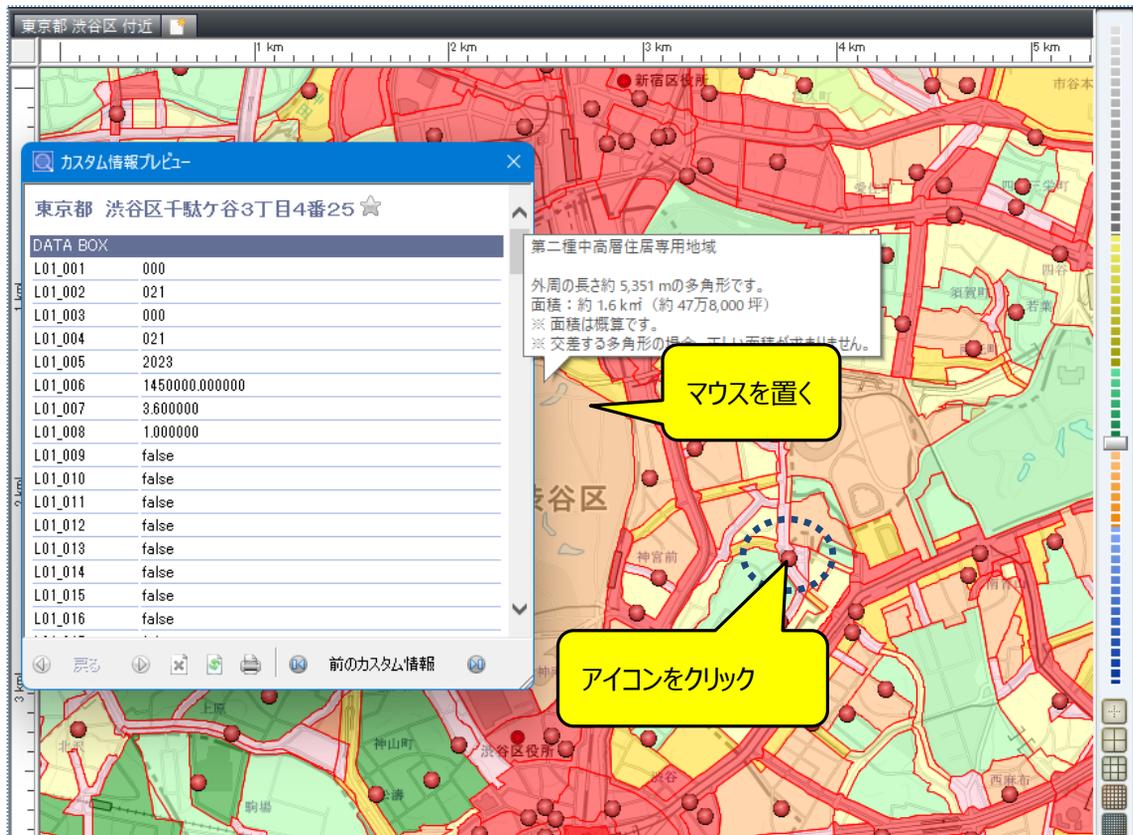


- ③ [カスタム情報の取り込み]が開きますので、を確認し [取り込み] をクリックしてください。
 [テキスト情報] の「東京地価公示」に [ポリゴン情報] の「東京土地用途別」が結合され表示されます。



【ポイント】最初に開いた「カスタム情報」が上位になり、「取込」の「カスタム情報」はその下位になります。
 ※テキストのカスタム情報を先に「開き」、ポリゴンのカスタム情報を「取込」すると、テキストが上位にポリゴンが下位に表示されます。

- ④ [テキスト情報] のアイコンをクリックすると「カスタム情報プレビュー」で内容を表示。
 [ポリゴン情報] の枠内にマウスを置くと、「土地用途」を表示します。



注意事項
 製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。

以上